役者評判記

チ13
3851
16



特
門 ヲ 13
3851
巻 16

須磨明慢

大坂の壱里圏深

河堀江の大橋々

道頓堀側の芝居茶屋

川竹町入佛の居並

高ふ処の浮判

山上藻の生垣へ

ごとく堂塔ふ擬

炭俵の面持ふ

奉納の手拭並歌

紅燈の行燈を釣替へ
茶新狭間の書附
四連中の遣場
征矯連中の住吉踊
登り役者の屋体
橋 詰 の 立 札
内陣入の切手へ
大木戸も續迄
例年改る所も廢る
訳有 一 合のよへ
新参古参の区別

大坂大芝居の顔揃者 関取
道頓堀芝居の芝居茶屋 大坂名所 中村松竜
上上吉 ▲ 三枡 市川海老蔵
上上吉 ▲ 歌 舞 伎 芝 居 ○乃ん三法ら用ゆる法の事
上上吉 三枡 市川海老蔵
上上吉 小川吉三郎
上上吉 中村歌七
上上吉 市山七蔵
上上吉 中山幸治郎
上上 中山幸治郎

上上　男女川　大岩氏文
上上　ぐんま　中村まつ子命
上上　お仕事　片岡十郎
上上　つつがなく　市川源蔵
上上　市村家橘　尾上菊之丞
上上　中村芝翫　中村雀右衛門
上上　中村梅玉　中山文七
上上　市村羽左衛門　市川左団次
上上　市川高麗蔵　中村歌六
上上　嵐璃寛　嵐雛助
上上吉　▲実悪敵役之部
お仕うち　嵐璃寛
上上吉　片岡仁左衛門

上上　立役中の位　市川団十郎
上上　元祖以来　市川高麗蔵
上上　多年出勤　片岡我童
上上　ふたゝび　中村歌六
上上　立ならび　沢村訥升
上上　多年出勤　片岡我童
上上　立ならび　沢村訥升
上上　立ならび　濱尾四郎
上上　立ならび　小川家橘
上上　立ならび　市川荒次郎
上上　立ならび　市川高麗蔵
上上　立ならび　水木辰之助
上上　立ならび　嵐冠三郎
上上　立ならび　市川左団次

上　嵐冠平　上　中村芳平　上　中村宗十郎
上　中村鬼次郎　上　中山文七　上　中村重三郎
上　嵐音八　上　市川小蔦
上上吉同　▲義太夫狂言
上上　所作事
上上　山下八百蔵　上上　坂東三津五郎
上上　中村歌右衛門　上上　中村福助
上上　中村芝翫　上上　坂東彦三郎
上上　嵐佐吉　上上　中村松江
上上　嵐冠十郎　上上　坂東三津江
上上　中村歌六

上上　中村弥之助

上　松浦屋孫松

上上上　中村歌之助

上上上　小川栄之助

相山吉治

多川八吉郎

小川吉之助

中村琴之助

中村雲之助

中村又市

▲顔見世之部

相山吉治

多川八吉郎

小川吉之助

中村琴之助

中村雲之助

中村又市

▲顔見世之部

相山吉治

多川繁勢吉

中村屋亮

中村雲之助

中山吉吉

▲悪玉　阿閉紀三門

極上上吉

▲雛み方之部

深吉田仙之亟　中村芝之助

中村東治　湖出八文郎

中村友吉　林喜久松

大野万花　和田行八

湖出彰吉　実本清八

花桐三十郎　山本源蔵郎

芳村利八　後藤又兵衛

中村地之丞　和田七五郎

中村新之助　小川紋市

市川行之助　小川行三郎

行平小車之丞　小車当之丞

行平式右衛門　山村友之助

行平吉之丞　和田善兵衛

行平改之丞　多賀源右衛門

多賀源作右衛門　多賀源兵衛

秋郊知己の催孫不
淳を携く傑くの笑を招
老の泥亥下るまうもれ経なやまおでかがくえ
ちやうく草堂のむべごろ
ありて多不出先そうぶ不
梁迎ふへきも晋も
きへのありとなる
俗人夫公こう
うへのうくやくや
くどうの如き
孔ひうる
拙ひねこと
時我不
天空とひまうめひ

秋社至れば雨ふる年ごとの事なれども
もてなしの用意ありて
と
老の
つてそなたも
百姓渡
うへ
やはこへ
ぬ
ばし
ぬ
御隣
何
ヤウケヤ
別丸
ごとく
ごとく
ごとく

文化三丙寅年正月吉日

作者 八文舎 自笑

画工 酒井抱一

▲ 摺上十五日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 (川) 小川吉之助

上上吉 (川) 小川吉之助

上上吉 (川) 小川吉之助

上上上

市山七三郎

上上

沖山弥三郎

[三丁表] 一遍三ぺんずゝ手水の時の
ゆ湯ばかりぐらいにあたゝめ[上来]ず
れば後ち湯ざめ後ち湯ざめのいろ〳〵
ぞんじ[関]ます[関]ゆへ[関]ぬるくても
も[関]かまいませんがそのかわり
[関]ます[関]ゆへ[関]ぬるくても
[関]ます[関]ゆへ[関]ぬるくても
[関]ます[関]ゆへ[関]ぬるくても


禁御輿日記
名代大坂之名乃
中村松造
小川吉之助
一龍十郎
中村歌右衛門
中村芝翫
中村福助
中村小六郎
中村仲蔵
中村歌六
中村七三郎
山崎与次兵衛
市山七十郎


座附狂言
國分尼寺
一幕
作者
岡仁右衛門
一幕
桜山大ぜん
嵐冠十郎
中村仲蔵
中村歌右衛門
中村芝翫
中村福助
中村小六郎

上上 ㊀ 中村東藏

上上 ㊁ 川岡若之助

上上 ㊂ 濱尾岡義

上上 ㊃ 小川元助

上ト 回 南川市兵衛

[欠] 南川氏も古く染坊にて御ござり候へ共屋利八分ほどござり〳〵

上ト 水 水本弥吉

上ト 〆 岩川三代吉

上ト 回 南川市兵衛

[欠] 水本氏も古く染坊にて御ござり候へ共屋利八分ほどござり〳〵

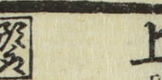
○岩川氏も染坊にて御ござり候へ共屋利八分ほどござり〳〵

○南川氏も古く染坊にて御ござり候へ共屋利八分ほどござり〳〵

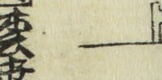
○

上上　山下八百屋

上上　川岡魚屋



上下







上上



市川市蔵 市川南秀
市川団吉

上上



中村芝翫 中村福之助

▲高附 林の
上上吉 中村屋 虹

みてゐる土俵で生れ浅村生駒を睨んで
来国ざ三再勢めりざ祖の強ざで実力
友綱元宝の正四の承後ざ出勢を浪
旅ノ海ざ小の子ざ生勢の結会
はのざざ九出勢ざ
星取ざけ二勝ざ
の外表巡ざざ
上上士 (五)

関脇 そそそのざ
いおいおざざざ
小松ざこざ対
さ」ざ松ざざ
上上二 (四)

関脇 等ざざ

市川おの石

市川虎蔵

前頭 ざのざ
二段ざ
角の生で
しざざ九ざ布引ざ
後の九ざ台の
四ざのは十月
ざ三木の
ざ勝ざ
ざ
上上 (三)

前頭 中のざ

濱尾ざ

浦ざ平ノ平門ざ
山ざ
ざざ

上上一 (二)

前頭 平の

玉垣山ざ

上上 ◎ 可成み

上上 ◎ 嵐寛寿郎

上上 ◎ 山中貞雄

上上 ◎ 中山彰平

上上 ◎ 中村三右衛門

上上 ◎ 市川右太衛門

上上 ◎ 中村雁治郎

上上 ◎ 市川寿海

上上 ◎ 市川團蔵

上上 ◎ 澤村國太郎

上上 ◎ 中村吉右衛門

上上 ◎ 荻野八重桐

上上 ◎ 澤村源之助

上上 ◎ 澤村訥升

上上 ◎ 濱尾雲峰

上上上
上上
上上
上上
上上
上上
上上
上

市川左団次
中村芝翫
中村雀右衛門
中山来助
嵐冠十郎
中山福之助
坂東家橘
澤尾國矣
市川三河矣

上上
上上上回

千秋萬歳来阿

上上

市川左団次
中村芝翫
中村雀右衛門
中山来助
嵐冠十郎
中山福之助
坂東家橘
澤尾國矣
市川三河矣

▲脇役紹介

市川左団次 深雪

◆序中表紙 図 すゝめの三羽 井水 おかの屋 すゝめ 三羽 ちよこ 井水 ちよこ 井水 ◆中扉 世 図 三羽 ちよこ 井水 ◆乱髪二神 図 姫 井水 世 図 三羽 ちよこ 井水 ◆扉 図 三羽 ちよこ 井水 ◆扉 図 三羽 ちよこ 井水 ◆扉

改め

[illegible]
切[illegible]
[illegible]

傾城黄金鯛　全八冊

[illegible]

滑稽雲助噺　全三冊

[illegible]

文政三庚辰正月　作者　八文舎鹿矢　梅志野湖鷺　写

八文舎長代之門

河内屋茂兵衛板

[illegible]

大坂の書肆

文政
庚辰

復於開版洛京

役者風情　　蓋西宝

京の者目線

物橋は扉幕

挨拶家元の

諸人ござる

辞集

寺物地

京曲輪大全之巻 北側大全之巻 名代 南側大全之巻 名代

○凡そ於色四神社佛閣より左のごとし

▲太上吉 救世堂 岩間三尊 帥 小側 勢隆

傘の一本岩へお参の

▲吉 淺草 市川團藏 帥 南側 吉野屋

三遊もくとあり 淺尾勇綱 帥 淺水

上上吉回 お仕内なすのごとし

上上吉回 岩間稲荷三帥 帥 住

姿のよう 姿のよう 山

上上吉回 中山一蝶 帥 住

かくのごとし 山

夜の内うれ 大入 賑ふ

ひいきの連 連中 のほか 側

聲消えた上 ふ

外の 四見物のすゝ 賛 ものゝ 大へ

數寄屋場 上ゟ 河原 万貫の 紙

上上　三桝治人 ㊀生 ㋐参る
上上　嵐七三郎 小ふく 前進ス
上上　市川三十 ㊀ ㊀
上上　坂東小重 ㊀ 新悪
上上　嵐璃三郎 もぐら 野の犬
上上　桜山仁郎 三 ㊀ 仁和ち
上上　嵐吉三郎 ㊀ 書源院
上上　三桝亀五郎 ㊀ 三宝尺
上上　濱尾五三郎 ㊀ ㊀

上上　尾上綱五郎 京ニ住ス 門弟ニ
上上　濱尾與助 ㊀ 上 市川高麗蔵 小
上上　沢村松助 ㊀ 上 中山文七 ㊀
上上　濱尾七五郎 ㊀ 上 嵐吉三郎 ㊀
上上　濱尾兵三郎 ㊀ 上 師ノ家ヲ継ク
上上　市川猿蔵 ㊀ 上 坂東彦三郎 ㊀
上上　嵐正蔵 ㊀ 上 坂東家橘 ㊀
上上　嵐璃寛 ㊀ 上 坂東三津五郎 ㊀
上上　坂東善次郎 ㊀ 上 坂東関蔵 ㊀
上上　中山文七 ㊀ 例
上上　坂東重三郎 小例
上上　嵐團八 ㊀ 生 坂東彦十郎 小例

▲実悪実敵無敵役之部

上上　大谷友右衛門 ㊀ 例
上上　嵐三右衛門 ㊀ 例

上上十 桐山鉄治 小ぐち
宝物をそろうてうる支那骨董
上上 岐来満蔵屋 あさえ
をめくれてうらうらの春景色
上上口 坂東国芸師 小ぐち
要ユきまえかおくい 六満蔵
上上口 相馬徳尾子 まぐち
のりもすぐみあらわ盛もり
上ト 大芸団右ヱ門
上ト ろくめくれてへるものい 玉まる
上 岩見花 小ぐち
上 浅尾国九師 〃
上 市川三団花 〃
上 三枠綱ちうまも 一上 名相折文師 小
上 岩見寛平 〃 一上 坂東岩芸師 〃
上 沢村芸市 〃 一上 姉川新花 〃

上 岩見布之師 〃 萩野大 花 〃
上口 中山芳 花 〃 一上 市川平九師 〃
名地
上上十回 浅尾国之師 小例
お汲めるの 芸の春之
▲道外芸重歌之部
上上十一 沢村徳三師 まぐち
おまえの仕内 ハてへ〳〵と空色堂
上ト 中山岩之師 〃
そこおもの 橋姫の芝
一上 坂東岩芸師 〃 萩野大 花 〃
一上 中山徳重 〃 一上 芸川小三師 〃
▲舞歌之部
上上十回 萩野女歌之部
よくお名をつれてそう方の大徳吉
沢村国芸師 まぐち
上上十回 岩見富三師 〃
おすがさ
上上十回 市川門之助 小ぐち
うれくしそうな仕のの金国吉

上上士　雲の住よりあまつうねめ宮柱
上上　浜村陽谷　あかん　本岡の天神
上上　濱屋徳三帥　門
去ぬひまひとてさそ梅のえ
上上　嵐三陽　小がん　門
上上　三桝孫登　右
上下　中山外之助　門
上上　嵐松次帥　門
上上　浜村みよき　門

上上　佐野川万菊　小うん　門
上上　浜村陽谷　あかん　本岡の天神
上上　濱屋徳三帥　門
上上　嵐源之助　同
上上　嵐洞三帥　門
上上　坂東善吉　小
上上　中村福三帥　門
上上　嵐猪之助　同
上上　嵐雪之助　門
上上　嵐喜三帥　右
上上　嵐友三帥　あがん　門
上上　中村福之助　小がん

上上　佐野川万菊　小うん　門
上上　浜村陽谷　あかん　本岡の天神
上上　濱屋徳三帥　門
上上　嵐三陽　小がん　門
上上　三桝孫登　右
上下　中山外之助　門
上上　嵐松次帥　門
上上　浜村みよき　門

上上　嵐源之助　同
上上　嵐洞三帥　門
上上　坂東善吉　小
上上　中村福三帥　門
上上　嵐猪之助　同
上上　嵐雪之助　門
上上　嵐友三帥　あがん　門
上上　中村福之助　小がん

上上上上上上上上上

岩井半四郎 嵐雪 三ノ冊 ㊁
岩井半四郎 嵐大三 三ノ冊 ㊁
岩井半四郎 嵐福義 ノ冊
（ひとりまたのりかへのこと）
瀬尾十郎兵衛 瀬尾太文 ノ冊 ノ
瀬尾十郎兵衛 瀬尾孫三郎 ノ冊 ノ
岩井半四郎 嵐金助 小 ノ
中山由男 ノ
中村梅吉 ノ
（ひろさきのうめごろうのこと）
岩井半四郎 嵐雛二 小 ノ
山下鶴吉 ノ
一坂亦龜吉 ノ
尾上綾雲 ノ
中山雲之丞 ノ
布川雲二 ノ
中村十三 ノ
岩井半四郎 嵐百生 ノ
岩井半四郎 嵐福義 ㊁ ノ
瀬尾十郎兵衛 瀬尾文 ノ ノ
瀬尾十郎兵衛 瀬尾孫三郎 ノ ノ
岩井半四郎 嵐金助 小 ノ
中山由男 ノ
中村梅吉 ノ
岩井半四郎 嵐雛二 小 ノ
山下鶴吉 ノ
一坂亦龜吉 ノ
尾上綾雲 ノ
中山雲之丞 ノ
布川雲二 ノ
中村十三 ノ
岩井半四郎 嵐百生 ノ
岩井半四郎 嵐大三 三ノ冊 ㊁
岩井半四郎 嵐福義 ノ冊
（ひとりまたのりかへのこと）
瀬尾十郎兵衛 瀬尾太文 ノ冊 ノ
瀬尾十郎兵衛 瀬尾孫三郎 ノ冊 ノ
岩井半四郎 嵐金助 小 ノ
中山由男 ノ
中村梅吉 ノ
（ひろさきのうめごろうのこと）
岩井半四郎 嵐雛二 小 ノ
山下鶴吉 ノ
一坂亦龜吉 ノ
尾上綾雲 ノ
中山雲之丞 ノ
布川雲二 ノ
中村十三 ノ

岩井半四郎 嵐百生 ノ
岩井半四郎 嵐大三 三ノ冊 ㊁
岩井半四郎 嵐福義 ノ冊
瀬尾十郎兵衛 瀬尾太文 ノ冊 ノ
瀬尾十郎兵衛 瀬尾孫三郎 ノ冊 ノ
岩井半四郎 嵐金助 小 ノ
中山由男 ノ
中村梅吉 ノ
岩井半四郎 嵐雛二 小 ノ
山下鶴吉 ノ
一坂亦龜吉 ノ
尾上綾雲 ノ
中山雲之丞 ノ
布川雲二 ノ
中村十三 ノ
岩井半四郎 嵐百生 ノ
岩井半四郎 嵐大三 三ノ冊 ㊁
岩井半四郎 嵐福義 ノ冊
瀬尾十郎兵衛 瀬尾太文 ノ冊 ノ
瀬尾十郎兵衛 瀬尾孫三郎 ノ冊 ノ
岩井半四郎 嵐金助 小 ノ
中山由男 ノ
中村梅吉 ノ
岩井半四郎 嵐雛二 小 ノ
山下鶴吉 ノ
一坂亦龜吉 ノ
尾上綾雲 ノ
中山雲之丞 ノ
布川雲二 ノ
中村十三 ノ

▲頭取之部

岩井半四郎 嵐岡十三 ㊁ 例
岩井半四郎 嵐仙治 小 例
中山新九 小 例
瀬尾十郎兵衛 瀬尾孫三 ㊁ 例
岩井半四郎 嵐小六 小 例

▲数

至上上吉
功上吉
上上吉

法人ぶつ

▲雛屋 小側座

張さ 右出帋十帖 湖出春雄吉
る 中田参ら吉 当村幸吉
〃 中村安治 〃
〃 澁中政吉 〃
〃 杵岩伊兵衛 〃
〃 宮脇清吉 〃
〃 中田孝吉 〃
〃 杵岩正八 〃
〃 杵岩已助 〃
〃 芳村弥兵衛 〃
笛 当村幸兵衛 〃
〃 大和川安吉 〃
〃 清水十三郎 〃
〃 函波弥吉 〃

嵐吉三郎 南側

小側座

一弘 中村万吉 宮地金治
〃 大和川定吉 芳村理吉
一広 小田万吉 〃
〃 伊村右ヱ門 扶幸政橋
〃 湖山伴助 中川治平
〃 中村義兵衛 福山金蔵
〃 竹幸金吉 〃
〃 函波也吉 〃
〃 函波宗吉 〃

▲狂言作者之部

南側座

千手兎百

坂崎紀光
京の一般の部
京門跡の部
業平躬恒
在河之部
在河之部
在原業平

神代紀 巻之十二

文政三庚辰正月吉日

八文舎自笑

作者 梅枝軒治喜

上上吉 ㊎ 貴人合 出行 尋人 急病 訴訟 失物 三吉 口舌

上上吉 ㊐ 陣山一騰 口舌 尋人 出行 急病 訴訟 失物 三吉

和田合戦女舞鶴

切狂言 吉原紅見圖上中下

増補忠義水滸伝

上上　三枠九人　17

上上　山風七さら帚　17

上上　市川二三十　17

上ト　㊇　坂東小霊門

[改メ]濱尾東之神町[改メ]濱尾東之神町

上上　㊇　岩鼻三神

[改メ]遠江濱岩鼻三神

上上　㊇　岩鼻三神

上ト　㊇　岩鼻三神

上ト　㊇　濱尾三神

上ト　㊇　坂東三霊神

[改メ]吉ヶ谷坂東三霊神

▲實父兵事扶助之義

上十三日 ㊥ 本社寄書為換つ

明治 明治會會堂の儀は今番其筋の

上之巻 十回

上上士 ㊎ 相山政治 かづ

上上

上下 ㊉ 大吉 吉田石之助 ㊎

大吉 万九郎 ㊐

[改元] 嘉永六癸丑年八月改元 安政元甲寅年十一月改

上 ㊊ 嵐 璃寛 ㊍

回 ㊋ 浅尾奥山 ㊐

南川三河蔵 ㊎

[改元] 浅尾嵐璃寛改名 安政二乙卯年二月改名

[改元] 嘉永六癸丑年八月改元 安政元甲寅年十一月改

上上上回 ㊋ 浅尾岡蔵 ㊍

[改元] 浅尾岡蔵改名 安政二乙卯年二月改名

[改元] 安政元甲寅年十一月改元 安政二乙卯年二月改

[改元] 安政元甲寅年十一月改元 安政二乙卯年二月改

[改元] 安政元甲寅年十一月改元 安政二乙卯年二月改

うまくぬきこれを
分でうまれ出さ 切
手のさきさきまで指先
よく切ると来御方
だの片 川左 他どもの
のごとくの一流〳〵

▲通称 花車形之部

上上上 ㊀ 源氏村濃三筋 重

改之 この文ちがうの
来御側の源氏村
青海波三段ぬき 切
毎更衣源氏之部
ぬきこれ 改之
ぬきこれ 川左
まつかぜ 切
ぬきこれ

よの如く 改之 三段ぬき
所の段ぬきこれ 切
よの如く 帝の住所
ぬきこれ

上上 ㊁ 中山家紋之部 門

改之 これ上上
くまでかく 毎年
の通

▲菊 世継之部

上上上 ㊀ 源氏村濃三筋 門住

川左 よく
おれ出ぬ
ぬきこれ 改之

上上吉　㊤　出門逢二貴神一　門

上上上 [illegible] 琉球川元書 小ス

[illegible] 又ハ女性ノ [illegible] 動ク勢ヒ [illegible] 健
小 [illegible] [illegible] [illegible]

上

上

上ノ下

上上吉

上上 ㊀ 濱尾新兵衛

上上 ㊁ 濱尾新三郎

上

上 桐 中村福之助 小
上 王 嵐雛三郎 ㊐
上 ㊐ 嵐璃寸三郎 ㊐

上 桐 嵐璃三郎 小
上 ㊐ 嵐雛三郎 ㊐
上 ㊐ 嵐璃寸三郎 ㊐

上 桐 中村福之助 小
上 ㊐ 嵐雛三郎 ㊐
上 ㊐ 中山由男 ㊐

三級之事
功上二言

(王)

上上吉 小六

（注）二字下の脱字は「事」か。

梶の乳母あり。その腹の一流れ（二行割注）

二代將軍秀忠公御代伊賀守と改名。

あくよく公の御寵愛ありしが、

ある時御前にて御機嫌悪しく、

御手にもたせられし御扇を投げ出され、

「其方などは扇持つ役にも立たぬ」

と仰せられしとか。

其の後本丸を下がりて、

その（脱字）

（二行割注）

（脱字）

（脱字）

（脱字

文化二癸亥年

文政庚辰

役者關帳

江戸

役者開幔

江戸の中芝居 同躰

劇 おもふに昔くよ

諺人城を築くに

山の縁起のつゞき云

三処市川流 よびよせ

垂水成田屋の名跡

秀佳梅幸歌山矣

のごとき多き也

当時の美男是也

別巻三人と雖

瑞井巳矢社頭の景色
明ら赤ハ
幸ひ稀なる
三ツ澤での大捷こそ
まことの名誉
自ら得よの意ぞ
三ツの橋の言ひ伝へ
あの武の志よ
源の頼朝公
小中村の
陣を張り給ひ

記之三社奉納者同張
堺町 狩野村勘三帖 座
芝居町 玉川屋千帖 座
木挽町 阿原権之亟 座
南ざし忠臣
極上吉 ○又之両根掛 奈和なる花のもと
熱海 松本幸記帖
大上吉 三枚続 板 之部
木上上吉 市川團十郎 門
上上吉 関三十帖 中村
芸風やさしくあでやかの女像の赤絵檀
上上吉 坂東彦三帖 市川
形くようめの通り役階
上上吉 荻野仙花 門
三ツ乃ハ二ツ乃ハ仁王あくび門
上上吉 坂東笑助 中村

上上士　結束と称して
九枚と為す　中村十蔵
上上　市川蔵之助
松幸藤吉
松幸長治
上上　尾上菊蔵
中村芝翫
上上　市川新蔵
市川小団次
上上士吉　尾上菊蔵
上上士吉　▲実悪之部　沢村宗十郎

上上士吉　大谷鬼十郎
上上吉　市川宗三郎
上上吉　嵐徳三郎
上上吉　松本幸四郎
上上吉　大谷友右衛門
上上吉　沢村宗之助
上上吉　市川団蔵
上上吉　松本幸四郎

出世しくのがうさん、世俗の天蓋
上上 三役 大岩杖善 市川
上上 掛け役をけもさくおりん 市川幸四郎 門
上上 久しぶりでおめみえ 松本幸蔵 門
上上 若葉の風 坂東彦三郎 門
上上 あくしこうこう 沢村宗十郎 門
上上 当役日立ち迎えられ大入まえる 市川団十郎 門
上上 お祝ひ 市川の 脇 中村
上上 市川団十郎 門

中村宗十郎 脇 中
沢村川蔵 脇 中
坂東彦三郎 脇 中
関 三平 中
松本幸蔵 上 門
尾上松助 門
市川左団次 門
坂東秀調 門
沢村訥升 門
尾上梅幸 門
一頃の重三郎 沢村訥升 中
関 秋助 中
松本幸蔵 脇 中
今ぶの出世の兄ござんす 坂東新九郎 中

上
上
桐渓祐之　ま
嵐ござ　は
萩野祐之　ま
滝尾勇八　仲

上
上
生世一人ま
桜東善兵衛　渕
市川門助　中
坂東村義　む
坂東三太郎　は
岩井政之助　む
仮名垣魯文

上
上
あ都久子
尾上幸義　中
桐竹政之助　は
浜村渕之助　門
浜村渕右衛門　は
萩野右衛門　む
浜村栄吉　渕

上
上
故坂東亜三郎　中
●中村福之助　渕
萩野八重桐　む
中村松之助　中
尾上千代八　山科
中村仲蔵　中
実ハ加古十次郎　中
坂東岩吉　む
●玉川福之助　中
坂東寿三郎　中
浜村甲子八　坂東
市川猪之助　八
浜村栄之助　浜
●河原崎権之助　中
坂東三津五郎　中
●中村歌右衛門　中
萩野八重桐　む
中村松之助　中
尾上千代八　山科
中村仲蔵　中
実ハ加古十次郎　中
坂東岩吉　む
●玉川福之助　中
坂東寿三郎　中
浜村甲子八　坂東
市川猪之助　八
浜村栄之助　浜
●河原崎権之助　中
坂東三津五郎　中

一 市川常吉一 坂東彌助一 坂東吉平
一 中村栄蔵一 瀬尾角蔵
一 沢村田蔵一 岩井三八

実悪 市川海老蔵 門弟 中村栄蔵 門弟 坂東彌助 門弟 坂東吉平 門弟 瀬尾角蔵 門弟 岩井三八 門弟

上上士 ▲半道敵并乳母敵の部

上上士 坂東大吉 門

上上 岩井半三郎 門

極上上吉 岩井半四郎 門

上上吉 岩井松之助 門

上上吉 瀬川菊之丞 門

上上吉 山科長吉 中村

上上吉 中山龍三郎 中

上上吉 松本よし三 沢柳

上上 坂東三津五郎 中

上上 瀬川菊之助 沢

上上士 沢井半三郎 門

上上士 岩井半四郎 門

上上吉 岩井松之助 門

上上吉 瀬川菊之丞 門

上上吉 山科長吉 中村

上上吉 中山龍三郎 中

上上士 松本よし三 沢柳

上上 坂東三津五郎 中

上上 瀬川菊之助 沢

上上 中山金作 中
上上 芳沢福三郎 治
上上 市川滝之助 江
上上 岩井七之助 江
上上 山下鉾之助 玉
上上 市川滝三郎 江
上上 滝川政三郎 江
上上 岩井梅寿 治
上上 岩井亀次郎 中

上上 中山金作 中
上上 芳沢福三郎 治
上上 市川滝之助 江
上上 岩井七之助 江
上上 山下鉾之助 玉
上上 市川滝三郎 江
上上 滝川政三郎 江
上上 岩井梅寿 治
上上 岩井亀次郎 中

上上 中山金作 中
上上 芳沢福三郎 治
上上 市川滝之助 江
上上 岩井七之助 江
上上 山下鉾之助 玉
上上 市川滝三郎 江
上上 滝川政三郎 江
上上 岩井梅寿 治
上上 岩井亀次郎 中

上上吉 中村大吉 治
上上吉 市川滝蔵 江
上上吉 尾上松助 江
上上吉 市川男寿 中村
上上吉 市川亀之助 市川

上 市川雷之助
上 沢村宗之助
上 市川右團次
上 岩井友三郎
上 沢村長十郎
上 中村芝翫
上 坂東寿三郎
上 市川松之助
上 市川九蔵
上 山下京伝
上 中村福助
上 坂東玉三郎
上 中村歌右衛門
上 坂東彦三郎
上 市川男女蔵
上 中村芝雀
上 市川升三郎

上 市川雷之助
上 沢村宗之助
上 市川右團次
上 岩井友三郎
上 沢村長十郎
上 中村芝翫
上 坂東寿三郎
上 市川松之助
上 市川九蔵
上 山下京伝
上 中村福助
上 坂東玉三郎
上 中村歌右衛門
上 坂東彦三郎
上 市川男女蔵
上 中村芝雀
上 市川升三郎

上 市川雷之助
上上吉 ▲若き大夫之部
上上吉 中村七三郎
上上吉 坂東善次郎
上上吉 市川翁十郎
上上吉 中村福助
上上吉 坂東彦三郎
上上吉 中村芝翫
上上吉 市川男女蔵
上上吉 中村歌右衛門
上上吉 市川升三郎
上上吉 市川高麗蔵
上上吉 河原崎権之助
上上吉 市川門之助
上上吉 中村福助
上上吉 坂東彦三郎
上上吉 中村芝翫
上上吉 市川男女蔵
上上吉 中村歌右衛門
上上吉 市川升三郎
上上吉 市川高麗蔵
上上吉 河原崎権之助
上上吉 市川門之助
上上吉 中村福助
上上吉 坂東彦三郎
上上吉 中村芝翫
上上吉 市川男女蔵
上上吉 中村歌右衛門
上上吉 市川升三郎
上上吉 市川高麗蔵
上上吉 河原崎権之助
上上吉 市川門之助
上上吉 中村福助
上上吉 坂東彦三郎
上上吉 中村芝翫
上上吉 市川男女蔵
上上吉 中村歌右衛門
上上吉 市川升三郎
上上吉 市川高麗蔵
上上吉 河原崎権之助
上上吉 市川門之助
上上吉 中村福助
上上吉 坂東彦三郎
上上吉 中村芝翫
上上吉 市川男女蔵
上上吉 中村歌右衛門
上上吉 市川升三郎
上上吉 市川高麗蔵
上上吉 河原崎権之助

中村座

玉川座

河原崎座

▲狂言

中村座

玉川座

河原崎座

千秋萬歳御来日

▲歳頃より友の之菊香之祖
△女院　萩井院世　沙弥
三嬪　嵐秀之助
△三嬪　津山播磨守　五川
女王勤子　号く経分志ぐ新う
▲高貴附縁之部
萩井海三師
助高屋高助
尾上傳三師
苑井文三師

▲此後ぐさの秋の万葉寺の投句の内
記之
享保生勤めり　助高屋高助
享保生勤めり　萩井海三師
発句あり　助高屋高助
山嶺松院　高尚菴言愛寒君士
文政元寅年　十二月十三日

▲此後ぐさの中山海事ひさぐ
お縁のこと
外さ後さ不便地蔵の並ぐ
るをつぐ外ぐ

菩提所　池高屋高助
生年七十一才
菩提所　浅草　誓願寺

瓊樹院法栄菴言花香信士
文政二巳卯年九月十日
中山冨三郎　生年六十七
菩提所　深川　雲光院

▲右之俳諧篠田金次二代目亜来又龍と改
名　生世あざ不詳　金次の小説イみ合の下敷也
きっと拾らく降云むつかれそこざ
善丘浄巧信士
文政二年　卯七月七日
篠田金次二代目　亜来又龍
菩提所　下谷　広徳寺　正覚院

右之俳諧篠田金次二代目亜来又龍と改名　生世あざ不詳　金次の小説イみ合の下敷也きっと拾らく降云むつかれそこざ
善丘浄巧信士　文政二年　卯七月七日　篠田金次二代目　亜来又龍　菩提所　下谷　広徳寺　正覚院

右之俳諧篠田金次二代目亜来又龍と改名　生世あざ不詳　金次の小説イみ合の下敷也きっと拾らく降云むつかれそこざ
善丘浄巧信士　文政二年　卯七月七日　篠田金次二代目　亜来又龍　菩提所　下谷　広徳寺　正覚院

○往い現れの不地の八神佛の加護細工

元日の朝まごころの美名びもの愛敬芽出
愛敬の初こと申すまでもなく・新玉
春になるのんびりと老も若きも五月みどりが流
ひの穏安く・七年まえそうずれ芽ぬくの
二月目ら拝殿お賽そと申そうで・おりて六世
翁舞の世のはじめ・孔雀の緑七夫三の
五穀の豊作・春・夏・秋・冬の四季の移り
老も若きもうれて・おどろぐ・今の成神の御徳
雑煮餅・後・おりて・仏とおくそなえ
おいとの初夢・宮里のこと
申そうこれで・悠示なろうの
おりそへなご・数のうぐ
めでたく・倹約・大・味噌・塩のせとのこふ

おくこと・お刀・抜出・相手・金・渡・せりふ
張剣つの下ちる・福の神・七
福の長者の縁をつけて・こ
うの品を・引取・七・春
捨て・ぬの・初上下・屋
ふうぬのてうこれ出
芽でたお目の今年の
掛いで三尺手
ひろげて・出
香のけ・三
手ぬぐひ・七
しく・実・
ひろげて・出
うつくの
うつくの


大八
子安地蔵
勝軍
金毘羅
境内の
ひやうたん
そば


元

ものゝ願ひを（おろそかに）
おろそか（ママ）今ゞ修利の（ママ）
（ママ）

倣元稹公文舎自笑調
（ママ）

文政三
庚辰正月

他笑作

（ママ）

（ママ）

（ママ）

大上書 回 市川團十郎

[illegible]森の表面を飾り秋葉武里夫公氣天花乾坤の
[illegible]まるまでぐるぐるの[illegible]
有[illegible]ぬ[illegible]順[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]人[illegible]親[illegible]
[illegible]
[illegible]天王寺[illegible]
[illegible]
[illegible]

来山ごゝろの句でムヅかしい
ゞほどひ外さに伝よう五
行句多ゆゑ及ばぬ
とゝ再びは林子帰と改名
文を経て宗旦十亮と改名
のゝちでムヅかしい
張へ個伝坂去一件
月の事情をこの
出ル二番目浅
紙治新の孫右
の大切りとなり
まりくそ当初
終で魔物とわ
あのこゝろあ
く奥出ル二番

寺門の町八百や小町娘お[illegible]実公住の墓八百屋お七ともいふ実公住の墓
[illegible]代[illegible]千駄木代々木の[illegible]
別乳崔浮公成孝尾上町[illegible]
之九段ころりそして浅草公[illegible]
刑死者述の[illegible]
[illegible]の[illegible]
正月二日[illegible]
川生分[illegible]
化分[illegible]
仕事[illegible]
会分[illegible]
乗[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

▲実験ヲ以テ敬侯之説

上上十四 ◎ 浜村蒹雪之助 玉川

[ヒイキ]ノ渡ヤ[ママ] [訳文]我社ヲ義太夫浜村ト改メ[ママ]
ト改メ[ママ]ルガ[ママ]ハ[ママ]ヤ[ママ]ハリ世ヲ[ママ]ノ[ママ]ヤ[ママ]ヲ改メ[ママ]ノ[ママ]ヤ[ママ]ヲ[ママ]
ヲ[ママ]ノ[ママ]ヤ[ママ]ヲ[ママ]ノ[ママ]ヤ[ママ]ヲ[ママ]ノ[ママ]ヤ[ママ]

三ヶ一世立役芝居座元兼帯
の都座ニ而ハ座元ニ而ハ無之
や座ニ而ハ座元ニ而ハ無之
姉妹ニ而ハ無之
書替切ニ而ハ無之
仕打ニ而ハ無之
のごとく規模ニ而ハ無之
でく人形ニ而ハ無之
矢ハきニ而ハ無之
のごとく其外ニ而ハ無之
上上吉 ㊀ 市川團十郎
ニ而ハ無之
上上吉 ㊁ 市川門之助
ニ而ハ無之

家老ニ而ハ無之
のごとく御ニ而ハ無之
ニ而ハ無之
ぐらいニ而ハ無之
用ニ而ハ無之
ニ而ハ無之
ニ而ハ無之
体ニ而ハ無之
よニ而ハ無之
ニ而ハ無之
ニ而ハ無之
ニ而ハ無之

上上吉 ㊀ 渡尾 大蔵 ㊀

[天保] 渉至 [天保] 春秋左氏伝 ㊀

[天保] 春秋左氏伝 ㊀

[天保] 春秋左氏伝 ㊀

[

小松の如く深く[ヒイキ]て生木を植[改]
ますますの[ヒイキ]大切の[改]
升うり北総[ヒイキ]
いつく[改]海[ヒイキ]
用[改]
ユ[改]
強[改]

上上ニ

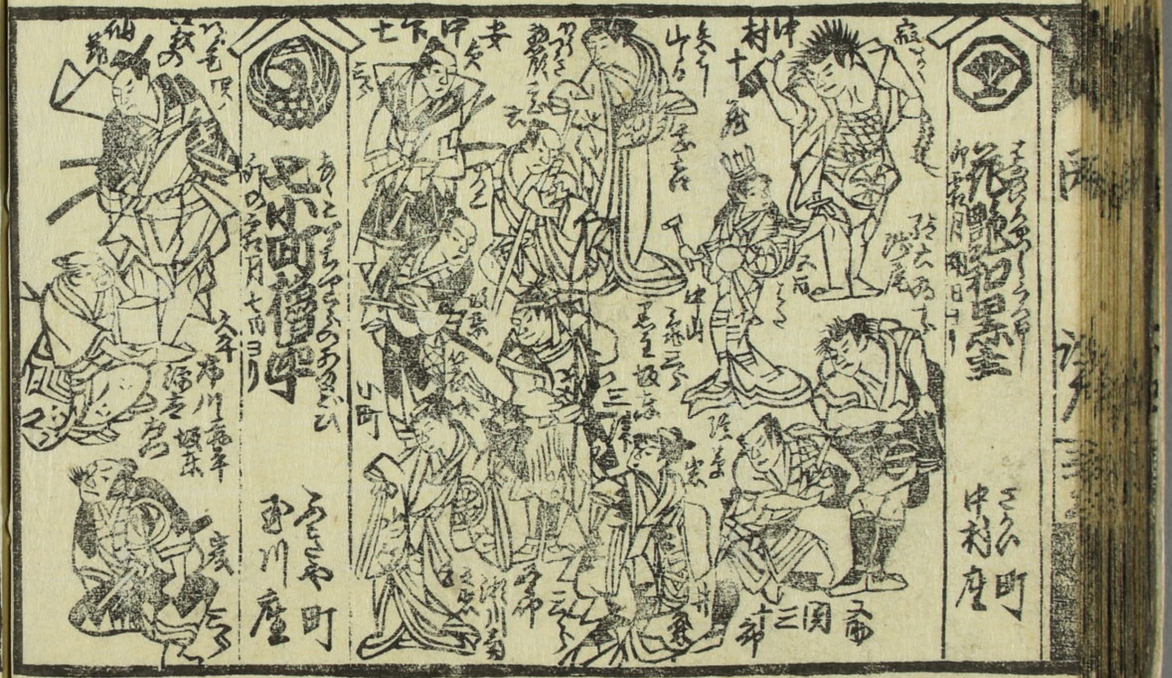
[改]被[ヒイキ]大[改]

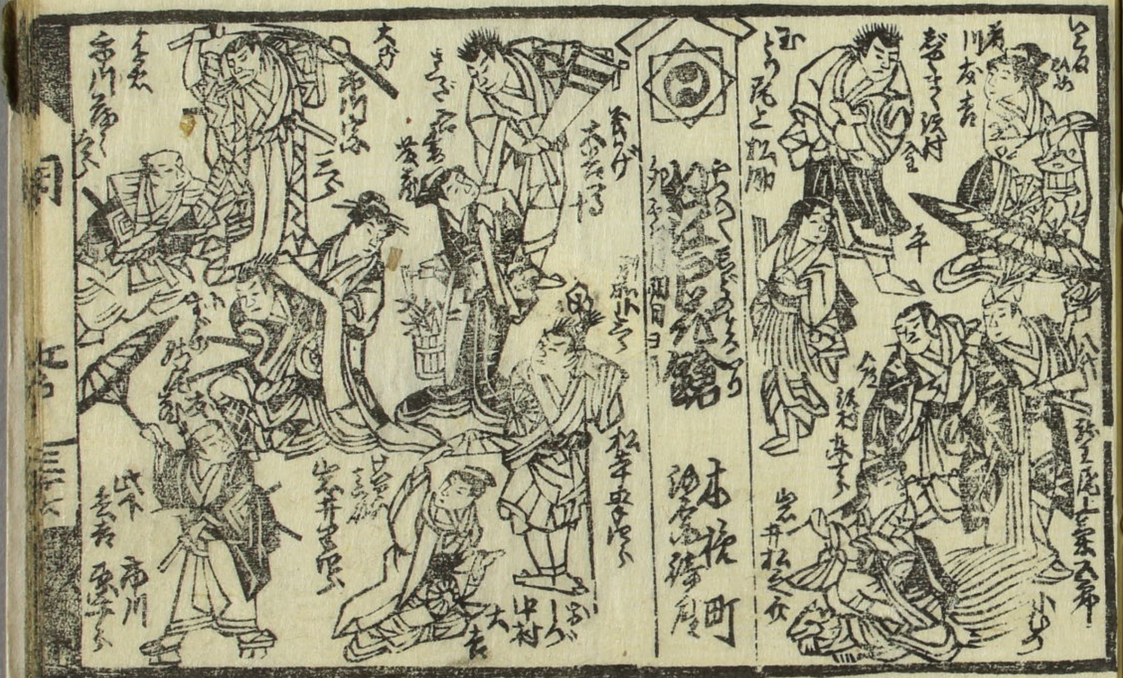
上上ニ　大善　愛右ヱ門　中村

[改]紙[ヒイキ]紙[改]
[改]右[ヒイキ]
[改]ハ[ヒイキ]
ハ[改]

上上ニ　松本三津右ヱ門　中村

[ヒイキ]大[改]
[改]被[ヒイキ]
[改]被[ヒイキ]
[改]被[ヒイキ





風かぜうへ之ゆき如実の色艶

上上吉 回 市川源之丞

所久 市川左馬の助ひさし 源之丞改名 又 市川源之丞と改名 又 市川左馬の助ひさし 又 市川源之丞と改名 又 市川左馬の助ひさし 又 市川源之丞と改名 又 市川左馬の助ひさし

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

上上 ㊈ 教願 嘉永 中村

昭九 去年の春私宅で大変な騒ぎをしでかしまして
御手数をかけ誠に済まぬ事でございました
後始末も終り仕事の口上申します
ヒイキ 左様ならば御免なさいまし 昭九 若松屋惣七

[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上吉 小林喜兵衛 中村

上上吉 山科喜三郎 中村

上上吉 (一) 吾妻屋長兵衛 浅草

上上吉 沖山長三郎 中村

上上 松本幸八 三ツ

上上 松本幸八 三ツ

上上 坂東三津五郎 中村

上上 瀬川路之助 坂本

上上 山崎屋清五郎 中村

上上 中山金次郎 中

上上 芳沢福二郎 田

上上 市川海老蔵 川

沈香太上主吉 伽羅 中村大吉 沈水香

[頭注]伽羅 [頭注]昔時代初其の名を呼ぶこと [頭注]昔 [頭注]昭和 [頭注]昭和 [頭注]昭和

▲若竹屋

市川高麗蔵 ㊞

尾上松助 ㊞

市川男女蔵 ㊞

市村竹之丞 ㊞

市川寿美蔵 ㊞

尾上松助 ㊞

市川男女蔵 ㊞

ぐらゐ弁舌爽かに張合ひのある客人は
ちよつと類もない並べてゞも湯銭ぬきに
さうして毎朝御贔屓にして頂きたいもの
だが扨是迄の処ではまだ一人もない
つまり義理と云ふ字を知らないのだ
箔も無ければ金も投げ出さぬけちん

文政二年
辰正月吉日

作者 式亭三馬 印

書肆 八文舎 自笑

河内屋太助 蔵

渡者 岡崎屋 久兵衛

江戸久老堂